Press Release

報道関係各位

2020 年 4 月 22 日
株式会社ガイアックス

# AWS クラウド構築・運用の『Cloud Sun』、お手軽＆低価格な「Web サービス脆弱性診断パック」をリリース！～セキュリティ対策に予算を割けない企業を支援へ～

株式会社ガイアックス（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：上田祐司、証券コード：3775、以下ガイアックス）は、世界中で脆弱性診断に活用され、高い信頼性を誇る脆弱性診断用アプリケーションである、「OpenVAS」と「OWASP ZAP」を活用した脆弱性診断サービス、『Cloud Sun Web サービス脆弱性診断パック』をリリースしました。

これにより、スタートアップの Web サービスリリース時や、リリース後の定期的な脆弱性診断実施を、低価格で提供可能となりました。「自社には脆弱性診断の実施ノウハウが無い」「作業リソースの捻出が困難」「客観性が欲しい」といったニーズに応え、世の中の Web サービスの、より安全な運用を支援していきます。

## ■サービス背景：不正アクセスは重大脅威だが、予算を理由にセキュリティ対策をしない企業多い

IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）が毎年発表している「セキュリティ 10 大脅威（組織）」※1 では、Web サービスの脆弱性による会社組織への脅威は、社会的に影響が大きく、常にランクインしています。

| 順位 | 組織向け脅威 |
|---|---|
| 1 | 標的型攻撃による機密情報の窃取 |
| 2 | 内部不正による情報漏えい |
| 3 | ビジネスメール詐欺による金銭被害 |
| 4 | サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃 |
| 5 | ランサムウェアによる被害 |
| 6 | 予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止 |
| 7 | 不注意による情報漏えい |
| 8 | インターネット上のサービスからの個人情報の窃取 |
| 9 | IoT機器の不正利用 |
| 10 | サービス妨害攻撃によるサービスの停止 |

また、2019 年に NPO 日本ネットワークセキュリティ協会が発表した「情報セキュリティインシデントに関する調査結果」にある「2018 年インシデント・トップ 10」※2 によると、情報通信業における不正アクセスが大半を占めています。

| No. | 漏えい人数 | 業種 | 原因 |
|---|---|---|---|
| 1 | 171万2,580人 | **情報通信業** | 管理ミス |
| 2 | 57万0000人 | 学術研究、専門・技術サービス業 | **不正アクセス** |
| 3 | 56万1,625人 | **情報通信業** | **不正アクセス** |
| 4 | 40万4,254人 | **情報通信業** | **不正アクセス** |
| 5 | 37万9,000人 | **情報通信業** | 不正な情報持ち出し |
| 6 | 27万0000人 | 卸売業、小売業 | **不正アクセス** |
| 7 | 18万4,181人 | **情報通信業** | **不正アクセス** |
| 8 | 12万4,863人 | 宿泊業、飲食サービス業 | **不正アクセス** |
| 9 | 9万3,014人 | **情報通信業** | **不正アクセス** |
| 10 | 9万2,822人 | 製造業 | **不正アクセス** |

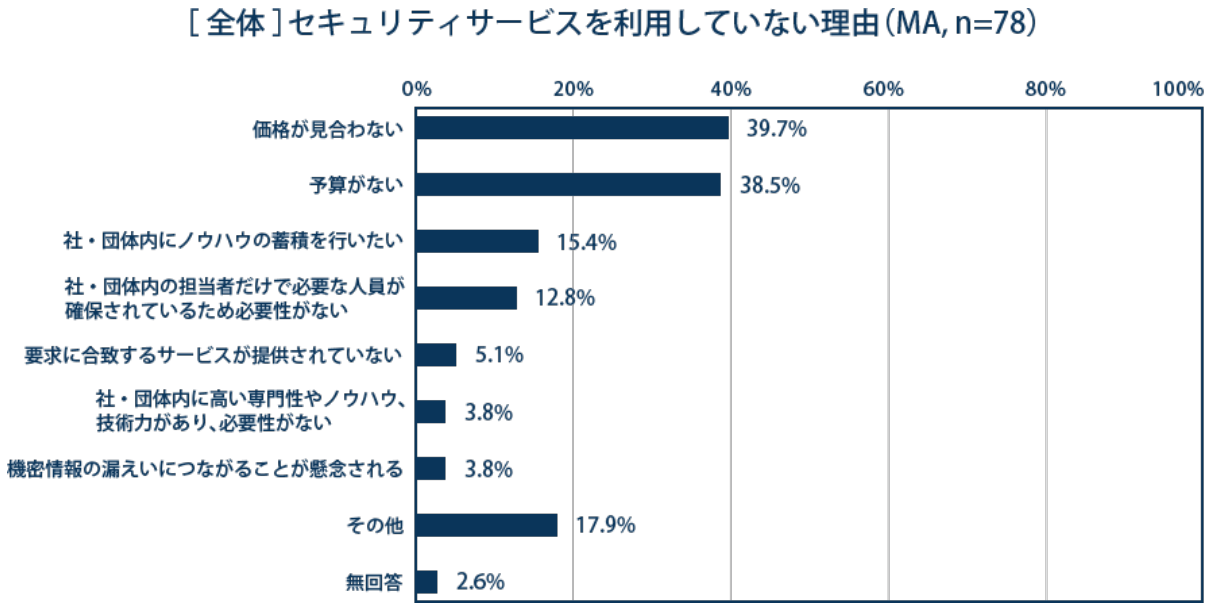
情報通信業の件数が多い

2013年以降
不正アクセスが多い
2013年 7件
2014年 3件
2015年 5件
2016年 7件
2017年 7件
2018年 8件

また、提供する Web サービスがサイバー攻撃を受け、情報漏洩やサービス停止などが発生した場合、その損害は多大になります。個人情報が流出した場合、同資料によると、一人当たり平均想定損害賠償額は 2 万 9,768 円となっており、そこへ流出した人数を乗算した金額が少なくないことは想像に難しくありません。

現在、徐々に企業の Web サービスの脆弱性に対する意識は高まりつつありますが、いまだ診断や対策を実施していない Web サービスが多く残っています。2018 年 12 月に警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課が発表した「不正アクセス行為対策等の実態調査　アクセス制御機能に関する技術の研究開発の状況等に関する調査　調査報告書」※3 によると、企業などの団体が利用しているセキュリティサービスについて、「Web アプリケーション診断」は全体の 18.8%、「プラットフォーム診断」は 12.7%の利用に留まっています。

また、同資料によると、セキュリティサービスを利用していない理由として、「価格が見合わない」が 39.7%「予算がない」が 38.5%と、コスト面の理由が多数を占めました。




直近ではコロナウィルス感染拡大防止による外出自粛の影響を受け、様々な業種でオンラインへシフトしていることに伴い、毎日のように新たな Web サービスの提供が開始されておりますが、当然それらのサービスについても脆弱性への対策は重要と考えます。

このような状況を受け、企業のより安全な Web サービス運用を低価格で支えることを目的に、『Cloud Sun Web サービス脆弱性診断パック』をリリースしました。

※1: IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）「情報セキュリティ 10 大脅威 2020」解説書 https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2020.html
※2：NPO 日本ネットワークセキュリティ協会「2018 年情報セキュリティインシデントに関する調査結果～個人情報漏えい編～（速報版）」 https://www.jnsa.org/result/incident/data/2018incident_survey_sokuhou.pdf
※3：警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課「不正アクセス行為対策等の実態調査　アクセス制御機能に関する技術の研究開発の状況等に関する調査　調査報告書」 https://www.npa.go.jp/cyber/research/h30/h30countermeasures.pdf

## ■サービス内容：脆弱性診断用アプリケーションを用い、手軽で安価を実現

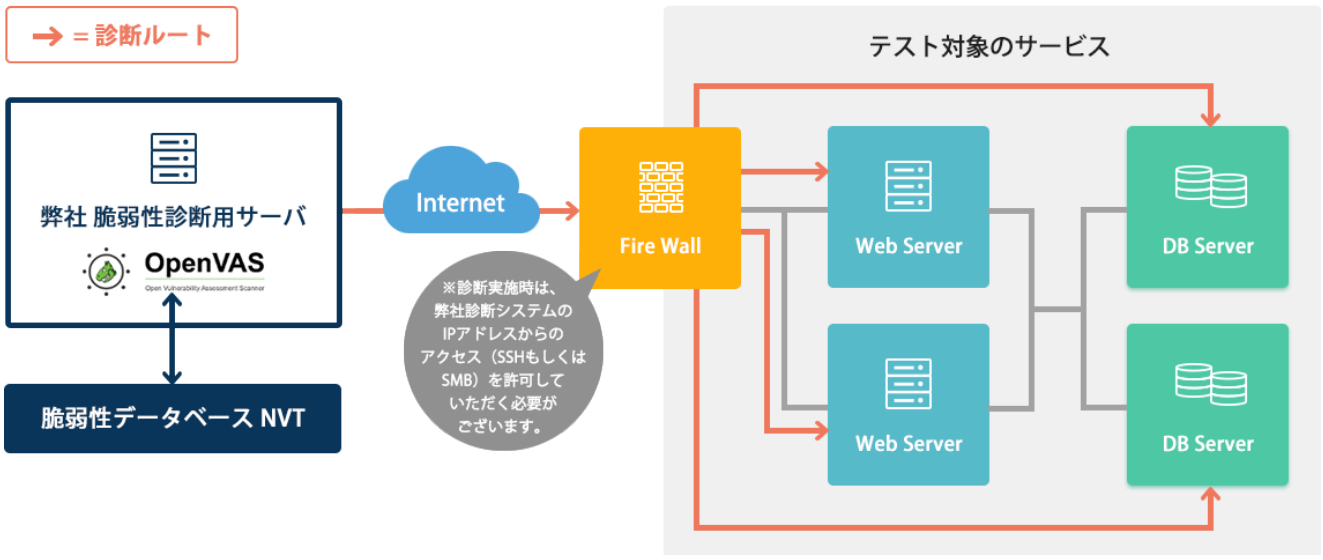
世界中で脆弱性診断に活用され、高い信頼性を誇る脆弱性診断用アプリケーションである、脆弱性診断用アプリケーション「OpenVAS」、「OWASP ZAP」を利用して、Web サービスで利用しているネットワーク、OS、ミドルウェアに脆弱性がないかを診断し、レポートに取りまとめ、報告します。

**●脆弱性診断用アプリケーション「OpenVAS」、「OWASP ZAP」**

・「OpenVAS」

標準セキュリティ設定共通化手順の仕様である「SCAP」（Security Content Automation Protocol）に準拠したセキュリティ情報データベース「NVT」（Network Vulnerability Tests）を利用して、ネットワークや OS、ミドルウェアに関する脆弱性がないかを診断することができるアプリケーションです。

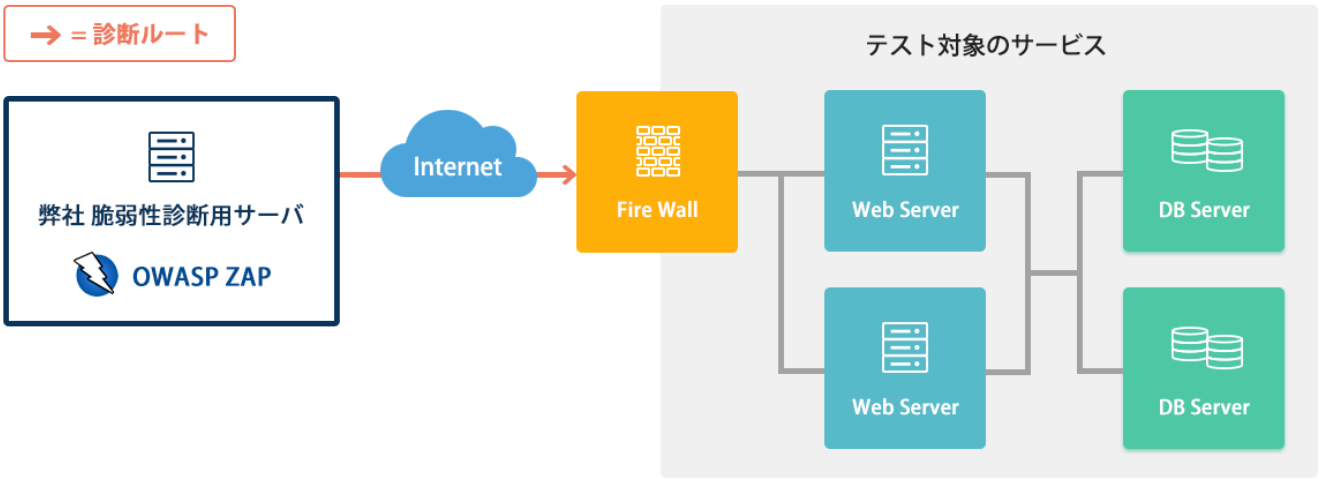
OpenVASの実施イメージ




・「OWASP ZAP」

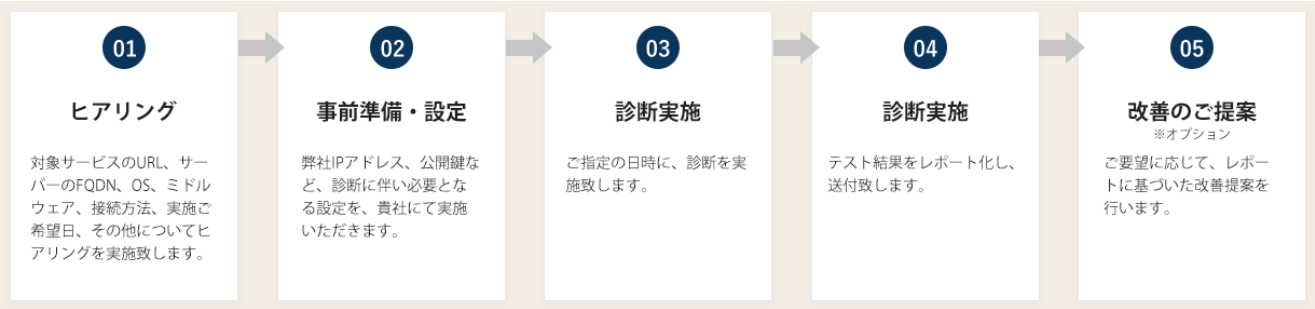
Web アプリケーションのセキュリティに関する研究や、ガイドライン等の作成、脆弱性診断ツールなどの開発、知識継承や啓蒙のためのイベント開催等を行っているアメリカの非営利団体「OWASP」が提供する脆弱性診断ツールで、Web アプリケーションにおける主要な脆弱性を外部より網羅的に診断できるアプリケーションです。

OWASP ZAPの実施イメージ



## ●診断の流れ

当社の脆弱性診断実施用環境にて、いつでも短時間で準備＆実行が可能です。
最短 10 営業日でレポートの提出まで対応します。




## ●サービス利用料金

初期費用 20 万円・月額費用 2 万円から実施可能です。

| 初期実施 | 2回目以降 | 改善提案 ※オプション |
|---|---|---|
| 20万円 | 2万円 / 月1回まで | お見積り |

## ●今後の展開

別途提供中の高負荷テストサポートサービスや AWS 構築・ホスティング支援サービスとのシナジーを活かしつつ、2020 年末までに 20 社へのサービス提供を目指します。
また、更なるお客様の支援へ向け、サービスラインの拡充をおこなっていきます。

## ■関連 URL

・「OpenVAS」と「OWASP ZAP」を利用した脆弱性診断サービス
『Cloud Sun Web サービス脆弱性診断パック』 https://aws.cloudsun.jp/security_test/

・「AWS」と「JMeter」を活用した高負荷テストをサポート『Cloud Sun Test Support』
https://aws.cloudsun.jp/jmeter_test/

・AWS クラウドの導入・移行から運用・監視まで『Cloud Sun』 https://aws.cloudsun.jp/

本件に関するお問い合わせ先
株式会社ガイアックス 広報窓口：高野 TEL：03-6869-0018 MAIL： hiroshi.takano@gaiax.com
サービス窓口：大坪 TEL：03-6869-2880
お問い合わせフォーム： https://gxcloudsun.inboundtools.com/inquiry_cloudsun_pt